

Q&A 御津地域の交通対策について/スポーツ活動の推進について



西田 豊和 議員
TOYOKAZU NISHIDA



御津地域における神姫バス撤退に伴う新たな交通手段について

問 コミュニティバスによる室津から山電網干駅まで運行できるか。

答 地域公共交通会議の協議等が必要であり、現実的には大変厳しい状況である。

問 市民病院や道の駅みつの指定管理者が独自バスにより市民を含め、山電網干駅まで運行できるか。

答 無償運送であれば運行は可能だが、運行判断を含め、事業者と協議が必要である。

問 定期的なバスの運行を民間法人へ提案することは可能か。

答 主体となる団体に意思確認することは可能だが、運行経費の負担、採算性、運転手不足等、持続可能な運行体制を構築するには多くの課題がある。また、既存の交通事業者や市が

運行する「コミュニティバス、市民乗り合いタクシー」への影響等、慎重に協議を進める必要がある。

スポーツ・レクリエーション活動の推進について

問 第2次総合計画に「市内4つの体育館について、利用状況等を分析し、施設の再配置を検討する」とあるが、検討結果は。

答 各体育館の利用者要望調査等機能集約に向けた検討として施設の統廃合等の整理を行っている。再編の方向性を検討した上で、各体育館の整備の基本方針を取りまとめていく。

問 新宮中学校の屋内・屋外体育施設の令和10年度以降の活用はどのように計画しているか。

答 具体の利用方針を決定し、利用者へ説明した上で来年度に施設の基本設計・実施設計を行い、令和10年度に工事着手を予定している。屋外施設の一部は、学校用地として活用する計画である。

その他の質問事項

- 人工芝多目的Gの整備
- 中学校部活動の地域移行
- 龍野IC周辺まちづくり事業

Q&A 持続可能な観光振興と歴史文化資源の活用 について



柏原 要 議員
KANAME KASHIHARA



問 第5次観光立国推進基本計画を踏まえ、持続可能な観光地づくりをどのように進めるのか。

答 龍野城下町などの歴史文化資源や自然景観を活かしながら、地域経済への波及効果や市民生活との調和を重視した観光施策を推進する。また、観光客数に加え滞在時間や宿泊客数、観光消費額などの指標も活用し、効果的な観光施策の展開に努める。

問 ロケ地誘致、ロケ適地PR、ロケ地巡礼・ロケ実績の観光活用を積極的に進める考えは。

答 ロケツーリズムは地域の魅力を発信する有効な手法である。本市は「ひょうごロケ支援ネット」に参加し、市内28件のロケ地情報を発信している。ロケ地巡礼は観光客の増加や地域経済活動の好循環、移住定住の促進につながり、郷土への

誇りや愛着が深まるものと認識しており、ロケ実績の活用やロケ地誘致の支援体制、受入環境の整備について調査研究していく。

問 たつの市版フィルムコミッションを設立する考えは。

答 フィルムコミッションは、ロケ地情報の提供や撮影支援を担う重要な組織であり、地域の魅力発信や関係人口の創出にもつながる。現時点では、本市独自の設立予定はないが、近隣自治体との連携も含め、本市に適したロケ支援体制について調査研究していく。

問 歴史文化資源を活かした選ばれる観光地づくりに向けた市の見解を伺う。

答 文化財保存活用地域計画に基づき、文化財保存と観光活用の両立を積極的に図る。龍野城下町や室津など歴史文化資源のストーリー化や回遊性の向上、体験型コンテンツの充実、情報発信の強化、観光コンテンツの創出などを進めることで、関係人口の創出・拡大、地域消費の活性化につなげ、市民が誇りを持ち、来訪者からも選ばれる観光地づくりに取り組む。